

# 大伴小だより

富田林市立大伴小学校 校長 岩片 啓子  
富田林市南大伴町一丁目2番20号

6月号



0721-24-3104

## しゅくはく まな 宿泊から学ぶこと

「宿泊の班に、仲良しのお友だちがいないから、子どもが行きたくないと言っています。」  
こんな電話を過去に何度も受けたことがあります。そのたびに、「毎日放課後一緒に遊んだり小さい頃から気持ちを許せるような関係の“仲良し”としか過ごせないのかなあ？ 宿泊学習は個人的な旅行とは違うんだけれどなあ、、、」と感じていました。  
5月末、5年生が初めて宿泊学習に行きます。意識して聞いていたわけではありませんが、上記のような連絡は一切ありませんでした！ 素晴らしいです！



子どもたちにとっては人生初（いや、保育園でお泊り保育などがあつたかもしれませんが）の、本格的な集団での宿泊体験です。お友だち家族との楽しいお出かけや、クラブチームの合宿のように、もとも好きなことで集まっている集団での宿泊とは少し違います。  
活動内容にはもちろん「楽しいこと」もありますが、それは遠足の集団行動と共通しています。“泊を伴う”となると、食事の支度や片付け、お風呂の入り方、洗面や歯磨き、荷物の整理、明日の準備、布団のたたみ方や部屋の清掃や確認など、遠足とはちがう生活そのものを、仲間と共に行うことになります。

また、多くの学校が利用する施設でもあるので、靴の置き場所一つでも、決められた場所にきちんと置く必要があります。家族旅行のように、少人数で大人が自由に連れて行ってくれたり、困ってもなんとかしてくれたり、少しぐらい遅れても大丈夫、というわけにはいきません。一人ひとりが役割を果たし、周りを見ながら行動することが求められるのが宿泊学習です。

困ったことが起きた時、自分たちで「どうする？」と考える場面もあるでしょう。  
「仲良しの友だちがいるかどうか」よりも、普段あまり話さない友だちとも声をかけ合い、協力し、助け合いながら過ごす経験から、仲間の新たな一面を発見し、人としての器が広がっていきます。

この先、いろいろな場で、友だちとの関係性について子どもたちは悩みを抱えますが、保護者の皆さま、どうぞ、うしろから見守り、一歩踏み出す勇気を与えてあげてください。

